

生活安全部

事件・事故から人々を守り、安全安心な街を築く。



COMMUNITY SAFETY DEPARTMENT



県民の生活に寄り添い、さまざまなトラブルや身近な犯罪などの防止対策に取り組むのが生活安全部。扱う内容は幅広く、パトロールをはじめ、事件・事故の初動対応など、現場で臨機応変に対応する力が求められます。110番を受理し関係各所へ指令を行う通信指令室、インターネット空間の治安を守るサイバー犯罪対策課、子どもや女性などを犯罪から守る少年・女性安全対策課等、地域に密着し市民の暮らしの安心を守る役割を担います。

MAIN WORK

主な仕事

- 交番勤務員によるパトロール
- 事件・事故現場における初動対応
- 住民の要望把握と情報発信
- 山岳遭難や水難事故の救助活動
- ストーカー、DV対策
- 犯罪情勢に基づく防犯活動
- サイバー犯罪対策

YAMANASHI POLICE

03

INTERVIEW PICK UP

サイバー犯罪対策 最先端の犯罪に立ち向かう。

現場におけるサイバー捜査支援や警察職員に対する指導、サイバー犯罪の統計・分析に関わる事務等が主な仕事です。県民がサイバー犯罪の被害に遭わないように、テレビ、新聞、SNS等の各種広報媒体を活用した広報啓発活動も行っています。サイバー犯罪はインターネット空間で敢行されるため、アクセスログ解析等のサイバー捜査を積み重ねることにより少しずつ犯人につながる情報が判明して、最終的に犯人を特定し、検挙することができた時の達成感は何事にも代えがたいです。

長期間に及ぶ捜査など大変なこともありますが、この仕事だからこそ体験や達成感がたくさんあります。一歩を踏み出して挑戦すると、見えてくる景色があることは確かです。

サイバー犯罪対策課 巡査部長



「専門的な技術が必要？」
サイバー犯罪対策課は令和5年に新設されたばかりで、とても活気に溢れています。パソコン・IT系の資格不要の「情報技術」という採用区分もあり、警察官になってから解析や捜査手法を学ぶことができます。



山岳救助 山岳遭難から人々を救い出す

子どもの頃に見た警察官が主役のドラマ、映画を見てかっこいいと思い警察官を目指しました。現在は、山岳遭難対応、救助活動を行っています。県警ヘリコプター「はやて」に搭乗し、ホイスト救助も行います。

山での遭難は命に関わる事案も多いので、安全に登山が楽しめるよう注意喚起を行ったり、様々な状況に対応できるように日々の訓練を重ね備えています。

山岳遭難がないことが一番良いのですが要救助者からの「ありがとうございます」等の感謝の言葉をいただく、無事に救助できてよかったと思います。辛いときもありますが、自分が県民の安全・安心を守っていると感じたときはその辛さを吹き飛ばすほどのやりがいを感じることができる仕事です。

地域課 山岳警備安全対策隊 巡査長



「職場の雰囲気は？」
職場は明るく、よくコミュニケーションをとっています。ひとたび事案が発生すればスイッチを切り替え、全員で意見を出し合い、救助のために全力で活動しています。